

希望の鐘

第197号

ひとつのつぼみはいちどしかひらかない

可能性信じ、新しい世界へ巣立つ56名 令和3年度第74回卒業証書授与式

3月12日（土）、令和3年度第74回卒業証書授与式が本校体育館で挙行されました。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、ご来賓は地域学校連携協議会の方々のみご出席いただくなど、昨年度同様、縮小しての実施となりましたが、コロナと上手く間合いを測り、様々な制約の中で行事を成功に導いた卒業生を、出席者全員が心を込めて、送り出すことができました。

卒業証書授与時の一人一人の返事には、今までの感謝の念と、夢実現のための決意が込められているようで、凛々しく、頼もしく、感動的でした。

〇〇〇〇さんは答辞で、行事等学校生活を通して成長できたことを具体的に述べ、最後には先生方、保護者、そして仲間への感謝の言葉が綴られていました。「みんなと過ごした日々が、昔も今も、そして、これからも、私の大切な宝物です」の一文が、3年間のすべてを物語っていました。読み上げ終盤は感極まった様子で、涙をこらえながらの最高の答辞でした。

56名の卒業生は、これからそれぞれが別々の道を歩き始めますが、その道に希望の花を咲かせながら、新しい世界のドアを自分のその手で開き、大人の階段を確実に、そして、しっかりと駆け上がっていくことを祈っています。卒業生の未来に栄光あれ。



お世話になりました

この度の人事異動で5名の先生が、ご退職・ご転任されることになりました。新任地での活躍を祈念いたします。

・高橋 直浩 校長 本校勤務3年
退職



教職生活最後の3年間が伝統ある小中野中ということ、緊張と不安が交錯する中、野球部からの元気な歓迎

の挨拶。この瞬間、これらの気持ちがなくなり、心が温まり、「さあ、最後の御奉公だ、頑張ろう」と思いました。任期の2/3がコロナと重なり、様々な制約がありましたが、その中で、できることを一生懸命頑張り、主体的に物事に取り組んだ皆さんの姿は、最高の贈り物でした。素敵な生徒、保護者の皆さん、地域の方々に囲まれて過ごした3年間でした。ありがとうございました。

・十文字 英一 先生 本校勤務8年
退職



8年前に転任してきつたこと、あつという間に月日が経ちました。教員生活最後の学校が小中野中学校で幸せだ

ったと思います。人懐っこくて、明るく、物怖じしないところが、小中野中生のよいところだと思います。先輩や先生方に鍛えられて、確かな伝統が毎年受け継がれてきました。学校生活で学んだこと、感じたことを心の糧として、これからの人生をたくましく生きていってほしいと思います。皆さん、本当にありがとうございました。

・三戸 佳子 先生 本校勤務5年
戸市立白銀中学校へ転任



小中野中から赴任して、もう5年も経ったなんて、信じられません。本当にあつという間でした。とて

も人懐っこく、何事にも前向きな姿勢で臨む皆さんと過ごす毎日、笑顔溢れる充実した日々でした。本当に楽しかったです。保護者の皆様や先生方、地域の方々にもたくさん支えていただきました。本当にありがとうございました。小中野中で学んだことを生かし、これからも頑張ります。小中野中生の今後の更なる活躍を祈っています。

・千葉 新夏 主事 本校勤務3年
戸市立長者小学校へ転任



初任者として小中野中へ赴任してからのあつという間の3年間でした。コロナで思うように活動でき

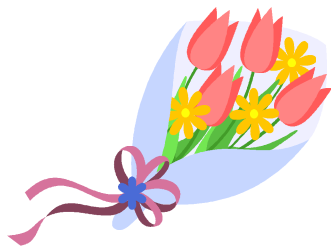
なかったことがたくさんありましたが、そのような中でも感染対策をしながら学校生活を楽しむために様々な工夫をしている生徒の皆さんの姿にとても励まされました。先生方や生徒、地域・保護者の方々にはたくさん支えられていただきました。お陰様で充実した日々を送ることができました。大変お世話になりました。ありがとうございました。

・照井 祐子 先生 特別支援アシスタント
本状勤務1年 退職



3年生のはつらつとした挨拶、活気のある明るい3年生、そして目標に向かって一人一人が精一杯頑張りぬく1年生、そんな小中野中学

校の皆さんと過ごせる毎日が本当に楽しくて仕方がありませんでした。優しく頼りになる先生方や、素敵な生徒の皆さん、学校を支えて下さる地域の皆さん全てが一つの大きな花のようでした。皆様に心から感謝いたします。大変お世話になりありがとうございました。



2